⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、5,395億円の支払超過であって、前年同期（1,961億円の支払超過）に比べ、3,434億円支払超過額が増加した。収入は、前年同期（２兆9,736億円）に比べ、7,458億円減少して２兆2,279億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆1,698億円）に比べ、4,024億円減少して２兆7,674億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

保険の収支は、収入11兆5,744億円、支出18兆688億円、差引き６兆4,944億円の支払超過であって、前年同期（４兆9,287億円の支払超過）に比べ、１兆5,658億円支払超過額が増加した。

3　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成29年度第１・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	345,282	155,255	190,026	366,864	174,872	191,992
国債(１年超)	323,692	136,737	186,954	348,312	159,425	188,887
借入金	21,590	18,518	3,072	18,552	15,447	3,105
国庫短期証券等	842,693	708,966	133,727	863,295	734,889	128,407
国庫短期証券	727,192	593,465	133,726	747,795	619,389	128,406
一時借入金	115,501	115,500	0	115,500	115,500	0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、19兆26億円の受取超過であって、前年同期（19兆1,992億円の受取超過）に比べ、1,966億円受取超過額が減少した。国債（１年超）の収支は、発行32兆3,692億円、償還13兆6,737億円、差引き18兆6,954億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入２兆1,590億円、償還１兆8,518億円、差引き3,072億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、13兆3,727億円の受取超過であって、前年同期（12兆8,407億円の受取超過）に比べ、5,320億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行72兆7,192億円、償還59兆3,465億円、差引き13兆3,726億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,501億円、償還11兆5,500億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 18,321	△ 119,433	△ 137,755
特別会計等	△ 115,911	135,782	19,870
財政投融資	△ 13,808	20,803	6,995
外国為替資金	△ 5,395	△ 22,220	△ 27,615
保険	△ 64,944	70,959	6,015
その他	△ 31,764	66,240	34,476
小計	△ 134,232	16,348	△ 117,884
国債等	190,026	△ 8,674	181,353
国債（１年超）	186,954	△ 7,236	179,718
借入金	3,072	△ 1,438	1,634
国庫短期証券等	133,727	△ 7,674	126,052
国庫短期証券	133,726	—	133,726
一時借入金	0	△ 7,674	△ 7,674
合計	189,521	—	189,521
調整項目	362	—	362
総計	189,883	—	189,883

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成29年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 165,926	△ 147,719
特別会計の債券売・買(△)	—	—
財政投融資	—	—
国債整理基金	—	—
その他	△ 103,272	△ 90,689
計	△ 269,198	△ 238,408

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、26兆9,198億円の支払超過であって、前年同期（23兆8,408億円の支払超過）に比べ、３兆790億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

1　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達9,540億円、資金返済17兆5,466億円、差引き16兆5,926億円の支払超過であって、前年同期（14兆7,719億円の支払超過）に比べ、１兆8,207億円支払超過額が増加した。

2　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期も、特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。

3　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、10兆3,272億円の支払超過であって、前年同期（９兆689億円の支払超過）に比べ、１兆2,583億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（18兆9,883億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（362億円の受取超過）を除いた収支は、18兆9,521億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、26兆9,198億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（21兆7,534億円）に比べ、７兆9,677億円減少して13兆7,857億円となった。